

RITEX
ライテックス

センサー時代

W-840

無線センサー チャイムアラーム 取扱説明書

この度は、ライテックスのセンサーライトをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本機を正しくご使用いただくために、必ず取扱説明書をよく読んでください。

注意

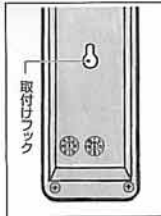
- 組合せ自由…用途に応じ本機と別売りの W-800 (セット)、W-810 (センサー)、W-830 (センサー付ハロゲンライト150W)、とを組合せができます。
- 単独では使用できません。
- 防雨型ではありません。雨水のかかる所での使用はお避けください。
- 以下の機種にも対応しています。
 - RITEX…C-800 (録画カメラ400shot)
 - PAXON ワイヤレスシリーズ…PX-900 (センサー180°ライトセット)、PX-910 (センサー180°)、PX-930 (ライト一体型センサー180°)、PX-960 (リモコン)。

1. 部位説明



3. 取付け方法

1. 付属の取付けネジを壁面に取付け、取付けフックにネジを引っかけます。
 - コンクリート壁の取付けの場合
振動電気ドリルでφ6mmの穴を開け、付属のプラスチック製プラグを差し込み、金づち等で軽く叩き面をあわせ付属の取付けネジで、本体を取付けます。
 - アルミ板、薄鉄板の取付けの場合
取付け位置にφ3.3mmの穴を電気ドリル等であけ、付属の取付けネジで、本体を取付けます。
2. 付属のACアダプターのプラグを本体のACアダプター差込口に差し込み、家庭用コンセントに差し込んでください。



4. チャンネルの確認

- W-810 (センサー) (別売)、または W-830 (センサー付ハロゲンライト150W) (別売) とのチャンネルが同じ組合せが確認してください。(無線シリーズは出荷時に緑のチャンネルは I、黄色のチャンネルは 9 に設定していますので、そのまま使用できます。) センサーを動作させてチャイム・アラームが鳴ればチャンネルの確認は不要です。
- チャンネルは256通りできます。緑のチャンネルで16切り換え、黄色のチャンネルで16切り替え、組合せは256通りできます。近所に同じ無線センサーライトを設置されていると混信し誤動作をしますのでチャンネルを切り替えてください。

センサーのチャンネルの確認

- ① センサーを上向きにします。
- ② 2個の防水ゴムをラジオペンチ等で外してください。
- ③ 緑と黄色の内側の矢印が指すチャンネルはチャイム・アラームと同じ組合せか確認します。
※間違っていると動作しません。
※チャンネルを合わせたら防水ゴムをもどしてください。しっかりと奥までつけないとゴムがはずれ、センサーの首振り調整ができなくなります。ご注意ください。

チャイム・アラームのチャンネルの確認

- 緑と黄色の内側の矢印が指すチャンネルはセンサーまたはセンサー付ライトと同じ組合せか確認してください。
※間違っていると動作しません。

2. 仕様

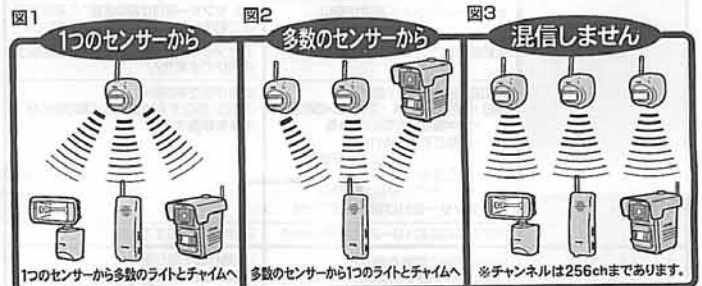
電 圧	DC 6V (専用ACアダプター使用)
受信周波数	315MHz
電波到達距離	見通し50m
セレクトチャンネル数	256チャンネル
チャイム音	約3秒 2回連続 ※
アラーム音	約30秒
スイッチ①音色切替	チャイム ↔ アラーム
スイッチ②音量・電源	音量 大 ↔ 小 ・ 電源 ON ↔ OFF
本体サイズ	幅63mm×奥38mm×高さ210mm
設置場所	屋内、屋外用(雨のかからない場所、埃の少ない場所)

- ※ インターバル約10~20秒…チャイムが約3秒2回連続鳴った後、再度鳴るのに約10~20秒間隔があります。
- ※ 電波の到達距離は取付け場所や取付け方向、アンテナの向き、また時刻による周囲の条件の違いで極端に短くなる場合があります。
- ※ 本機は本格的な防犯機器ではありません。強盗・盗難などの被害における責任は負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ※ 詳しくは取扱説明書をご覧ください。

5. チャンネル切り替え

チャンネルを切り替えることで、組合せが自在にできます。

1. 【図1】同じ周波数の組合せであれば1台の発信器(センサー、センサー付ハロゲンライト)から受信器(チャイム・アラーム)は何台でも同時に動作することができます。
2. 【図2】多数の発信器(センサー、センサー付ハロゲンライト)から受信器(チャイム・アラーム)を動作させることができます。
3. 【図3】発信器(センサー、センサー付ハロゲンライト)と受信器(ライト、チャイム・アラーム)のチャンネルを組合せれば混信せずに動作することができます。
※ 2台以上の発信器が同時に人を探知したときは、受信器が動作しないときがありますが故障ではありません。
4. 近所に同じ無線センサーライトを設置されていると混信し誤動作をしますのでチャンネルを切り替えてください。



- ※ 発信器(センサー付ハロゲンライト W-830)も同様に組合せ自在です。
- ※ 1…発信機は、この他に、PX-910、PX-930、PX-960、C-800 (録画カメラ400shot) も、使用可能です。
- ※ 2…受信機は、この他に、PX-920、PX-940、PX-950、C-800 (録画カメラ400shot) も、使用可能です。
- ※ 3…2台以上の発信機が同時に発信した場合、受信機が動作しないことがあります。故障ではありません。

組合わせのご注意

- ※ PX-960 (リモコン) では、C-800 (録画カメラ400shot) を操作できません。

発信器センサーのチャンネルの切り替え

- ドライバーで内側の矢印を回してください。
- 緑と黄色のチャンネルの組合せで256通りのチャンネルを切り替えることができます。

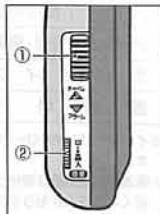
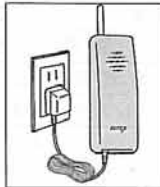
受信機チャイム・アラームのチャンネルの切り替え

- 必ずセンサーと同じチャンネルの組合せにしてください。
- ※ 間違っていると動作しません。

6. チャイム・アラーム

※ **W-810 (センサー)** (別売) または **W-830 (センサー+ライト50W)** (別売) の赤外線センサーが探知しチャイム・アラームを鳴らします。

- ACアダプターのプラグを差込口に差し込み、コンセントに差込みます。
 - スイッチ①でチャイム又はアラームを選んでください。
※チャイム…さわやかなチャイム音が来訪者の接近を知らせます。
インターバル約10~20秒：チャイムが2回連続(約3秒)鳴った後、再度鳴るのに約10~20秒間隔があります。
- ※アラーム…アラームが約30秒鳴り、侵入者を防ぐのに役に立ちます。
- 鳴っている間にスイッチ①で別の音に切り替えると最初は2重音が鳴りますが故障ではありません。
 - スイッチ②を入れた状態でACアダプターのプラグを差した時、コンセントに入れた時は動作確認のチャイム又はアラームが鳴ります。
- スイッチ②で音量と電源を調節します。
スイッチ②を回し電源を入りにし音量をお好みの大きさに調節します。



7. 無線センサー(別売)をお好みのモードに調節します

① (時間) タイマー

W-820 (ライト50W) (別売) と **W-830 (センサー+ライト50W)** (別売) の調節用です。本機チャイム・アラームには関係ありません。



② (点灯) 明かりセンサー

W-820 (ライト50W) (別売) と **W-830 (センサー+ライト50W)** (別売) の調節用です。本機チャイム・アラームには関係ありません。

※チャイム・アラームは調節に関係なく昼夜作動します。



③ (距離) 人感センサー

感度の調節は、調節つまみを④へ回すと弱くなります。人以外にも動きのある熱源に探知しますので、小さな犬、猫やクーラーの熱、太陽光の変化等の誤作動を少なくしたいときに調節します。また探知距離も短くなります。



④ センサー探知距離、角度の調節

●探知角度を狭くしたい時は付属の探知角度調整シールを図3のようにセンサーレンズ側面に貼ります。



8. センサー (別売) 取付け前の注意 (取付けてはいけない所)

*センサーは、周囲の明るさと温度変化に探知するので、図の場所に取付けると誤動作や、動作しない時があります。



△ 注意 (電波が原因で動作しない場所)

- 発信機(※1)と受信機(※2)の間に金属や鉄筋コンクリート壁がある。周辺が金属で囲まれている場所。(スチールキャビネットの間、カラオケボックス等)
- 壁面に断熱用のアルミ箔を貼り付けたガラスウール。
- テレビ、ラジオの送信所近辺の強電界地域または各種無線局が近くにある場所。
- 発信機(※1)と受信機(※2)の間の距離が離れすぎている。
※本機の近くで携帯電話やPHS電話を使用している場合。
- テレビ、ラジオ、電子レンジ、蛍光灯、コードレス電話、FAX、パソコン、OA機器や家電製品から2m以上離してください。
- ※1--W-800のセンサー、W-810、W-830、C-800(録画カメラ400shot)、PX-910、PX-930、PX-960
- ※2--W-800のライト、W-820、W-840、C-800(録画カメラ400shot)、PX-920、PX-940、PX-950



9. 故障かなと思った時

現象	考えられる原因	処置
鳴らない 探知範囲に人がいるのに点灯しない	チャイム・アラームに電源が入っていない センサーの電池がない。また+-極性を間違っている センサー探知範囲の設定が適切でない 本機に向かって真っすぐ接近している センサー探知部(センサーレンズ)が汚れている。蒸気や雨などの水滴が付いている 寒冷地などで顔がマフラーで覆われている。手袋をしている 雨の日に傘で顔や手が隠れている センサーからの送信電波が弱い 探知範囲内で人が静止している	電源プラグが抜けていないか確認する(家庭用コンセントに差す) 電池の交換と+-の確認をする 探知範囲を調節する(センサーを探知させたい方向に向ける) 探知部(センサーレンズ)をやわらかい布でぬがけないようにふき取る 本センサーは人の動きによる温度変化分を感知するため左記の場合探知しにくい場合があります "8. センサー取付け前の注意"の電波の原因で動作しない場所を参照してください 本センサーは静止している人には性能上探知できません
チャイム・アラーム 人がいないのに反応する	探知範囲内に誤動作源がある(例)・他の照明器具・エアコンの吹出口 ・犬や猫などが動いている ・風などでよく揺れる物(看板、旗、植物等) ・車の熱やヘッドライト ・強いノイズ(無線ノイズ等) "8. センサー取付け前の注意"参照 再度鳴るのに約10~20秒間隔がある	誤動作源を取り除く(探知範囲を調節する)(左記に該当する物があれば取り除くか本機を移動する) 探知範囲を規制する(センサーの向きを変える、センサーに探知角度調整シールを貼る) "7. ④センサー探知距離、角度の調節"参照 チャンネルを切り替える "5. チャンネルの切り替え"参照

10. ⚠ 警告

① 医用電気機器に与える影響

送信電波が医用電波機器、医用電気機器に与える影響は極めて少ないものですが、安全管理のため発信器は医用電気機器から2m以上離して使用してください。

② 本機は探知範囲内に侵入する物(人・車等)に対して注意を促しますが、盗難犯罪が発生しても一切の責任は負いません。

*製品改良のため、仕様および外観は、お断りなしに変更することがありますのでご了承ください。